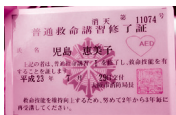


Broaden your horizons③⑦ ~さあ、視野を広げて!~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。先日、なにわ淀川花火大会が開催され、60万人が訪れました。今年、救護担当委員長を拝命した私は、救急救命講習会に参加しました。応急手当ガイドラインなるものをいただき、講義を聞き、実技に移りました。そのとき、人工呼吸用携帯マスクを配布されました。直接マウスツーマウスで人工呼吸した場合、おう吐物が邪魔になることもあるため、携帯用マスクを持ち歩くようにと……なるほど。レスキュー人形を使って、本格訓練です。吹き込む息の量や心臓マッサージの強さまで測るレスキュー人形、その名は「ANNE」です。彼女を使っただけの訓練ですが、やってみると難しい。強すぎると肋骨を折ってしまいますし、弱すぎると効果がない。しかも意外に重労働なのです。「委員長、もっと息を吹き込んで!」などと怒られながら……。もう、やけくそ、「アンジェリーナ、アンジェリーナ!」と意識確認をしながら……汗かいてきました(笑)。これはみんな、一度はやってみないといけなないと思いました。

続いてAEDの講習です。全て機械が次の指示をしてくれるので、簡単かと思っていましたが、実際に訓練したとき、つい気持ちがこもってしまいました。最後にボタンを押してくださいとの指示を受け、躊躇してしまいました。現場で本当にこんな場面があったとき、自分は躊躇なく押せるだろうか? 人の命がかかっているのです。これを押すことは間違えていないのだろうか? 意識改善しなければどうしようか……。などいろいろな思いが巡りました。

当日、救護担当は8部隊にわかれて配置につき、私は本部に詰めることになりました。救急車は5台待機し、万全の態勢です。「熱中対策水」も用意しました。ボランティアに連れて行ったメディセレスクール生に有料観覧チケットをあげたので、来ているはず。何も起こらないことを心から願い、でも何が起きてもよいように準備は怠りません。

夜空のキャンパスに描かれた素晴らしい絵。花火は芸術ですね。その芸術に60万人が酔いしれた後、救護班の出番です。「携帯をトイレに落としたり!」「ペットの犬が迷子に!」と救護班の活動を問い直したいような「モノと動物」救護に忙しく、救急車の出動なく終わりホッとしました。

9月18日に「次世代の薬剤師を創る会」 in 東京校で、皆様とお会いできることを楽しみにしております! (<http://www.medisere.co.jp/>)

Medisere(メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子